

# 盛岡市授業改善シート

「子どもを主語」にするために、教師が日常的に授業改善を図る目的のシートです。これを参考として、各校、各学校区、各教員で、子どもの実態に応じてカスタマイズし、御活用ください。

番号	分類	項目	教師の授業改善の実施例	評価
1	授業を構想する	指導事項の明確化	学習指導要領を基に、単元や本時での <b>ねらい・指導事項</b> を、教師が設定している。	
2			子どもの実態を基に、 <b>教師が教えることと、子どもが考えること</b> を明確にして、授業構想している。	
3		育成を目指す 子どもの姿の具体	単元末や本時で、子どもが何をできるようになればよいか、 <b>具体の姿（記述、発言等）</b> で教師がイメージをもっている。	
4	授業をする	子どもの気付きなどを 生かした学習課題	<b>子どもの気付きや考えから問いを引き出す</b> などして、教師と子どもで学習課題を設定している。	
5		教師と子どもの ゴールの共有	単元や本時で、何ができるようになればよいかなどの <b>ゴールを教師と子どもが共有</b> している。	
6		子どもの自己選択・自己決定	子どもが <b>自己選択したり、自己決定したりする機会</b> を、教師が設定している。	
7		学びの充実につながる対話	<b>学びの充実につながる対話の機会</b> を、教師が設定している。	
8		ICT端末の活用	学習活動や指導事項に応じて、 <b>子どもがICT端末を自分で選択して使える</b> ように、教師が指導している。	
9			資料の提示、交流・共有、保存、学習履歴の蓄積など、 <b>教師が効果的にICT端末</b> を使っている。	
10		思考を揺さぶる発問	子どもの授業中の言葉を用いるなどして、 <b>学習課題の解決に迫る発問</b> を教師が行っている。	
11	学びの自覚化	自分のことばで説明したり、意図的な表現をしたりするなど、子どもがわかったことや疑問などの <b>学びを自覚する機会</b> を、教師が設定している。		
12	授業を振り返る	指導と評価の一体化	教師が授業後に、 <b>自分の授業を振り返る機会</b> を設定している。（子どもの姿、子どもの振り返り、互見授業、授業動画など）	
13			教師が自分の指導を振り返った後に、 <b>次の授業に生かそう</b> としている。	

◎：よくできた    ○：できた    △：もう少し    ※：必要がなかった